

平成 29 年 7 月 18 日

## 7 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は間伐中心だが、急な豪雨や猛暑のため減少傾向で入荷も少ない。荷動きは丸太の品薄から、各製材工場とも在庫薄のなかで引合い強い。スギは柱材が良好、中目材は並材がやや良好。ヒノキは柱材が強保合、中目材もやや良好で推移。丸太価格は全般に値上げ基調で、市売りの販売率も 99%と好調。スギは柱材、中目材とも良好。特に中目材の良材が強保合。ヒノキは柱材が強保合、中目材はやや良好。

群馬の製材工場は全体的には順調な操業状況。原木流通量は増えつつあるが依然少なく、特にスギ 4m 中目材の集荷に苦戦。入荷の多くが間伐材で、全体的に柱下の丸太が多い。緑の県民税による捨て切り間伐が行われており、市場に出回る丸太が減少気味。原木在庫は材種、径級によっては厳しい。製品販売は県内全体では低調だが、首都圏市場からの引合いは良好。製品在庫は全体的に少ない。価格は全般的に低位安定。

### 2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、6 月も好天で出材回復。米国内製材工場も原木の購入意欲は旺盛。産地港頭在庫は、米国は出材が回復し製材工場の原木確保意欲旺盛なため在庫のだぶつきは見られない。ウエアハウザー社の 7 月積み対日米マツ価格は、前月積比で据え置き。米国内製材工場は引続き原木手当意欲が旺盛で、国内価格と輸出価格の一部乖離の穴埋めが今後起こる可能性大。5 月の米材丸太の入荷量は 256 千 $m^3$ と回復。1-5 累計は前年同期比 9%減。出荷量は 225 千 $m^3$ で入超。在庫量は前月比 31 千 $m^3$ 減の 251 千 $m^3$ 。日本国内の米材工場は今一つ勢いが感じられない。カナダ製材品への反ダンピング課税は 6/23 に 6.87%で仮決定。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)6 月の入荷量は 30 千 $m^3$ (前月比 2.3%増)、出荷量は 30 千 $m^3$ (同 4.3%増)。在庫量は 49 千 $m^3$ (同 0.3%減)。5 月の米国住宅着工は、年率換算 109.2 万戸で前年同月比 2.4%減。ランダムレンジス紙発表 7/7 の 15 種木材価格平均は、\$ 399/M で 6 月頭比 2.4%減。産地価格動向は丸太の高騰による値上げに歯止めがかからず、引続き \$ 価は上昇。円安により

今後の入荷分については更なる値上げが予想される。先行き引続き建売物件の動きは好調だが、注文住宅の受注は思わしくない。

### 3. 南洋材

サバは天候不順と断食月で出材量は低迷。今後も原木出材は期待できず、製材品生産量も減少し価格は引続き強含み。サラワクは規制強化による原木出材の低迷が常態化する中、サバ同様悪天候と断食の影響で低迷続く。7月からの伐採税の大幅アップもあり状況は更に悪化の状態。PNG ソロモンも雨多く出材は不安定。丸太の入・出荷は増加、在庫は横這い、製材品の入荷も横這い。丸太の販売は合板・製材用とも平年並み。製材品は平割や棒類の引合い多いが基本的に当用買いで変わらず。

### 4. 北洋材

シベリア地域の夏山伐採・搬出は順調。輸入製品は中国、日本等の購買意欲が依然高く、原料も不足気味で価格は高止まり。丸太価格はカラマツ・エゾマツ \$ 145-150、アカマツ \$ 163 でいずれも保合。製材品は現地挽きが弱含み横這い、国内挽きは値上げ通らず苦戦中。アカマツ原板は \$ 380 で保合。荷動きは現地挽き 3.0cm×4.0cm 上級グレードが需要停滞で価格苦戦。国内完成品は良質グレード、胴縁・ヌキそれぞれ堅調。国内の北洋材製材工場は特注品で採算維持、丸太調達は昨年並だが原板は依然入荷少ない。

### 5. 合板

原料丸太のうち国産材の入荷は順調。カラマツの引合い強く高値張り付き。ロシア材はカラマツの引合い強いが価格は横這い。米材は出材順調だが需要旺盛で引続きタイトな状況、価格も強い。南洋材は出材が依然低調で、価格も更に強い状況。5月の国内合板総生産量 25.5 万 m<sup>3</sup>のうち、針葉樹合板は 24.3 万 m<sup>3</sup>で先月より減らしたが、低水準とは言えない。出荷量も 24.0 万 m<sup>3</sup>と減少したが例年通り。在庫量は 9.9 万 m<sup>3</sup>、うち構造用合板は 8.6 万 m<sup>3</sup>で僅か増加したが依然低水準。国産針葉樹合板の 7 月販売価格は横這い。市場での価格の乱れは相変わらずだが、メーカーの強気姿勢は変わらず。

国産針葉樹合板の状況は、6 月前半の動き悪く、価格も大きく乱れたままで推移したが、後半は若干動きが出てきた。今後好調な直需系の仕事量を考えると供給に不安がある。輸入合板は 12mm 系塗装合板、生合板が好調、品薄感から価格も強く、他のアイテムへ波及の可能性。先行き国産針葉樹合板は、動きが出てきた中で、今後の品薄状態の再来に対する警戒感も出ている。輸

入合板は塗装・生合板の品薄状態の解消は見えず、更なる高値へ移行すると予測。

## 6. 構造用集成材

6月のラミナ入港は少ない。現地のラミナ工場はフル操業。欧州のコンテナ問題は改善され秋には正常化する見込み。QTR3 ラミナ交渉も終盤を迎えRWのオファー少なく、WWは必要量確保の見込み。製品価格は産地価格値上げとユーロ高で輸入コストが大幅に上昇し、国内市場では7月から値上げの動きが広がる。国産集成材の受注は引続き好調。販売・荷動きとも良いが、WW柱・間柱は一服感。販売先行きは、集成材メーカーは受注残が残っており、7月も販売は好調。4月積ラミナの不足感が不安視されたが予想ほどでなかった。製品価格は今後の需要増、ユーロ高により値上げの方向。輸入集成材はWWKD間柱が5ユーロ幅の値上げの可能性。

## 7. 木材チップ

チップ原木の入荷量は例年を上回る、解体材も例年並みの入荷だが、大手製紙メーカーの定期修理のために余剰感。消費は製紙用が減少、燃料用は夏期定期修理のため抑制。在庫は製紙原料チップ、燃料用共に増加。針葉樹チップ価格は製紙用が横這い、FIT用は高値材敬遠の動き。輸入チップの発生量は順調、価格は為替レート変動に伴い先行き不透明。国内チップ工場の操業状況は、定期修理の関係で稼働率が大幅減。

## 8. 市売間屋

国産材の構造材は、まとまったバンドル単位の荷動き悪い。造作材は必要な量だけで当用買いが続く。外材の構造材、造作材ともに動きは少なく当用買い。販売動向は市場での市日の活気はなく、記念市に期待するような状況。土木関係の仕事が出てきているような感じがあり、若干期待している。

## 9. 小売

国産材の構造材はスギKD柱・小割・板、ヒノキKD柱・土台いずれも保合。外材はロシアアカマツタルキ保合、米ツガ角・平割とも保合、SPF保合、WW間柱保合。造作材はスプルス・ピーラー平割保合、タモ平割保合。集成材はWW、RWの柱・梁保合。合板は国産針葉樹、輸入品とも保合。プレカット工場は見積・加工とも順調。大工、工務店は新築・リフォームとも忙しさは感じられないが、新築見積りが多くなった。

【参考資料】需給価格動向 PDF ファイル

7月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	↘	↘	↘

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱 (KD) 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角 (KD) 10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角 (KD) 12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角 (KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角 (GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
			米ヒバ土台角 (GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	↗
米マツ平角 (KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗			
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ (KD) 30×40 上級	→
		アカマツ (KD) 16×40 上級	→	
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウツ' 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
		ホワイトウツ' ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↑	
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウツ' 無化粧 JAS 5プライ	↗
		スギ 無化粧 JAS 5プライ	→	
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→